

【3年 社会科】

学 期	学 習 内 容	評価方法
1 学 期	【公民的分野】 第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 具体的には… ○日本国憲法制定までの経緯を理解し、日本国憲法の三大原則が大切にされている理由や憲法に基づく政治の重要性を説明することができる。 2節 人権と共生社会 具体的には… ○日本国憲法では、国民にどのような基本的人権保障されているか説明することができる。 3節 これからの人権保障 具体的には… ○新しい人権が認められてきた理由を説明することができる。 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 具体的には… ○議会制民主主義の仕組みを説明できる。 ○日本の選挙の仕組みを理解し、我が国の選挙の課題の解決策を考えることができる。 ○政党やマスメディアの役割を説明できる。 2節 国の政治の仕組み 具体的には… ○国会のしくみや法律・予算が決まるまでの流れを理解することができる。 ○内閣のしくみと役割を理解し、これからの行政のあり方を考えることができる。 ○裁判所のしくみと裁判の種類、司法制度改革について理解することができる。 ○三権の関係を整理し、三権分立がなぜ必要か説明することができる。 3節 地方自治と私たち 具体的には… ○地方自治の仕組みを理解することができる。 ○地方公共団体の課題解決のために、自分たちに何ができるか考えることができる。	【知識・技能】 ・各節終了後 小テスト ・第2章・第3章終了後の単元テスト（第4章単元テストは1月実施予定） ・振り返りシート - など 【思考力・判断力・表現力】 ・各節終了後 小テスト ・第2章・第3章終了後の単元テスト（第4章単元テストは1月実施予定） ・振り返りシート ・話し合い活動における記述・発言・発表の様子 など 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・ワークに対する取り組み方 ・テスト直しの取り組み方 ・話し合い活動における記述・発言・発表 など

	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 具体的には… ○消費活動における契約とはなにか、消費者の権利にはどのようなものがあるか理解し、自立した消費者になるためにはどうすればよいか、説明することができる。 2節 生産と労働 具体的には… ○企業の目的や生産のしくみ、株式会社のしくみについて理解することができる。 ○なぜ労働者の権利が守られているか理解し、労働をめぐる課題をどのように解決すればよいか考えることができる。	
--	---	--

学 習 方 法	【授業の進め方とポイント】 ○ワークを使った予習をしますので、あらかじめどのようなキーワードでその時間の学習が進むかある程度理解してきましょう。 ○毎回問いに答える形で授業を展開します。必要な資料を教科書や資料集・地図帳などを手掛かりに読み取り、自分の言葉で説明することを意識したまとめを書きましょう。 ○振り返りシートにはその時間にわかった知識、発見や興味、何がわからなかったかなど学習を振り返り、わかりやすく書きましょう。裏の「学習前の課題」「知識の構造図」に取り組むとさらに点数がUPしますよ。 【家庭学習の進め方とポイント】 ○ワークの右のページを活用して応用問題を解いてみましょう。 ○間違えた問題は自学ノートを活用して、もう一度解いてみましょう。 ○授業でわかったことをその日のうちに、自学ノートにまとめても効果的です。 (その際は、図や表、挿絵などを入れたカラフルなものにすることをおすすめします。) ○テストの前には対策プリントを出します。繰り返し解いて確実に理解しましょう。
------------------	---